

16年目の復讐～奴らを地獄に送るまでの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	16年目の復讐～奴らを地獄に送るまでの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	16年目の復讐～奴らを地獄に送るまでを読んだことのある20代～40代の男女4名
調査期間	2025年3月31日～2025年4月1日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/16nenmenohukusyu/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 16年目の復讐～奴らを地獄に送るまでを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	2人
30代男性	1人
30代女性	0人
40代男性	0人
40代女性	0人
50代男性	0人

Q2: 16年目の復讐～奴らを地獄に送るまでの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

この作品は、ただの復讐劇ではなく、深い人間ドラマとサスペンスが絡み合った、読み応えのある物語だと感じまし

た。主人公が過去の傷を抱えながらも16年間耐え続け、ついに復讐を決意するまでの過程が丁寧に描かれています。私の思う物語の最大の魅力は、主人公の心の揺れ動きだと思います。復讐を計画する冷徹な姿と、妹を思う兄としての優しさが共存していて、単なる「復讐者」では終わらない。主人公の行動には明確な理由があり、読んでいて共感せずにはいられません。加害者側の視点も描かれることで、「復讐は正義なのか？」という問いかけも感じられ、単純な勧善懲悪ではない深みがあります。

すごく上手というわけではないけれど、意思の強さとか決意とかを感じる表情の描写、感情の表現が印象的でした。漫画ですが、ほんとに日本の場合、現実にあってもおかしくないシチュエーションという感じがしてぞわっと怖くなりました。構成とテンポが良くて、どんどん作者の方のリズムにのせられるようにめちゃくちゃ共感して応援している自分がいます。

これまでの漫画の中でもジャンルを問わず、最も面白かった作品です。心身共に疲弊してしまった高校時代の優真、悲惨な場面を見て見ぬふりをする教師の描き方にリアリティがあります。そのリアリティが読んでいて怒りを覚えます。明るい気分になるような漫画ではありませんから、通勤中などに読むのは避け、夜に飲みながら読むのが良いと思います。

優真の置かれた状況が、あまりにも悲劇的過ぎて涙が止まりませんでした。彼が坂東達に復讐したいという気持ちも、痛いほどわかります。肉体改造し復讐を誓う優真は、過去の自分を変えようとしているように見えました。妹や母親を守れなかった自分、坂東達に逆らえなかった自分。優真の人生は、自分の非力さを嘆き続ける事ではなかったのだと思います。優真の復讐は、許されない正義です。ですが、時としてその正義は必要ではないかと感じさせられました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス